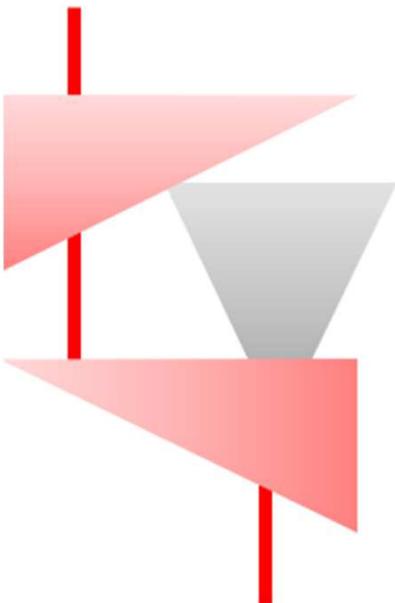


2023年度 CSR報告書

Corporate Social Responsibility Report 2023



わたしたちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

Contents

トップメッセージ	・・・	2ページ
経営理念・社訓	・・・	3ページ
マーク・社名の由来	・・・	4ページ
事業ビジョン（Mac21）	・・・	4ページ
経営方針・使命	・・・	5ページ
CSR方針・CSR推進体制図	・・・	5ページ
役員メッセージ	・・・	6ページ
SDGsへの取組み	・・・	7ページ
事業活動への取組み	・・・	10ページ
①組織統治	・・・	11ページ
②人権	・・・	13ページ
③労働慣行	・・・	14ページ
④お客様への対応（消費者課題）	・・・	21ページ
⑤公正な事業慣行	・・・	23ページ
⑥環境	・・・	24ページ
⑦コミュニティへの参画および発展	・・・	30ページ
会社概要・会社沿革	・・・	34ページ
事業所在地・売上推移	・・・	35ページ
事業紹介	・・・	36ページ



■ トップメッセージ

常にチャレンジ精神をもって、
目の前の壁を突破していく活動をしてまいります。



代表取締役社長

山崎 泰三

ミスズ工業CSR報告書発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は、1965年の創業以来、精密加工技術と半導体実装技術を柱とし、お客様が求める高精度、高品質な製品づくりに取り組んでまいりました。創業から50年以上が経過し、次の50年を“NEXT50”または“第二の創業”と位置付け、お客様のニーズに沿った製品を提供し続けることこそが私たちの使命と定義し、社員一丸となり常にチャレンジ精神をもって目の前の壁を突破していく活動をしてまいります。

Withコロナの時代に入り、社会が企業に求める価値観もお客様が取引先に求める優先順位も変わってきました。当社も数年かけて、ものづくりの新たなやり方を色々な角度から見つめ直し、当社を取り巻く環境変化にしなやかに対応できるようにしてまいりました。より一層、期待に応えられるよう推進してまいります。

今回、初めてCSR報告書を発行することとなり、これまでに当社が取り組んできた品質・環境活動の他に、この数年間で力を注いできているCSR・SDGs活動を皆様に公開し、当社の活動を理解していただければと考えております。

引き続き、私たちは、当社の社会的責任を果たすために、お客様満足の実現、SDGs達成に向けた活動の取組み、さらにたゆみない技術開発・技術向上を進めます。



経営理念・社訓

■ 経営理念

わたしたちは、「モノづくり」文化をはぐくみ、人々の幸せに貢献します。

○個人の成長が会社の成長

- 一、常に自己を磨き成長しよう。
- 一、パートナーシップ精神で共に成長しよう。
- 一、個人の成長をもって、会社の生命を豊かにしよう。

○会社の成長が社会の成長

- 一、常に創意工夫を第一に成長させよう。
- 一、全員参加の経営で、会社の成長をを図ろう。
- 一、会社の成長をもって、社会び発展に努めよう。



■ 社訓（行動指針）

- 道は必ずある。失敗を恐れず、困難をいとわず仕事に挑戦しよう。
そこに歓びが生まれる。
- 努力をもとに根性、自己啓発の心でともに向上しよう。
そこに飛躍が生まれる。
- 研究と想像を深め、常に技術を磨くことに喜びを感じよう。
そこに誇りが生まれる。
- 心の輪をつなぎパートナーシップ精神で、仲間の成長を助けよう。
そこに人の和が生まれる。
- 謙虚、公平な心を柱とし、自己犠牲を払う勇気をもった真のリーダーシップを養おう。
そこに信頼が生まれる。
- たゆみなく社業の成長をはかり総員の福祉向上と社会的貢献を全うしよう。
そこに励ましが生まれる。

マーク・社名の由来

■ミスズ工業 ロゴマーク（シンボルマーク）の由来

ミスズ工業の頭文字“M”を具象化し、企業スローガンの「先進のメカトロニクス」のイメージを基盤として、ミスズ工業の企業風土とし、将来とも強く根ざすことが大切となる3つの要素「先進」「若さ」「参画」を、鮮やかなレッドを基調に表現しています。



「参画」 自己啓発の心で向上する精神と、仲間と共に経営参加する目的意識

「若さ」 常に未来へチャレンジする意欲と若々しい明るさ

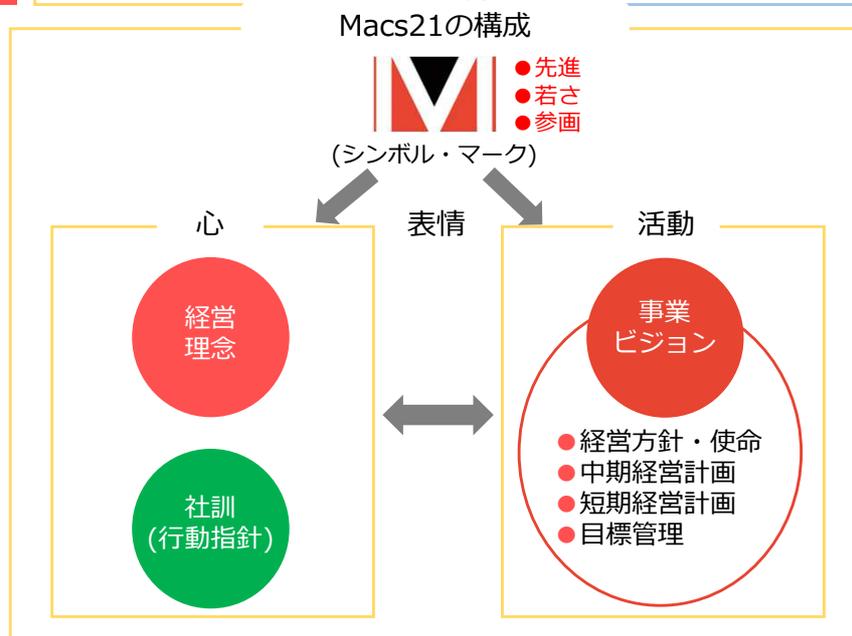
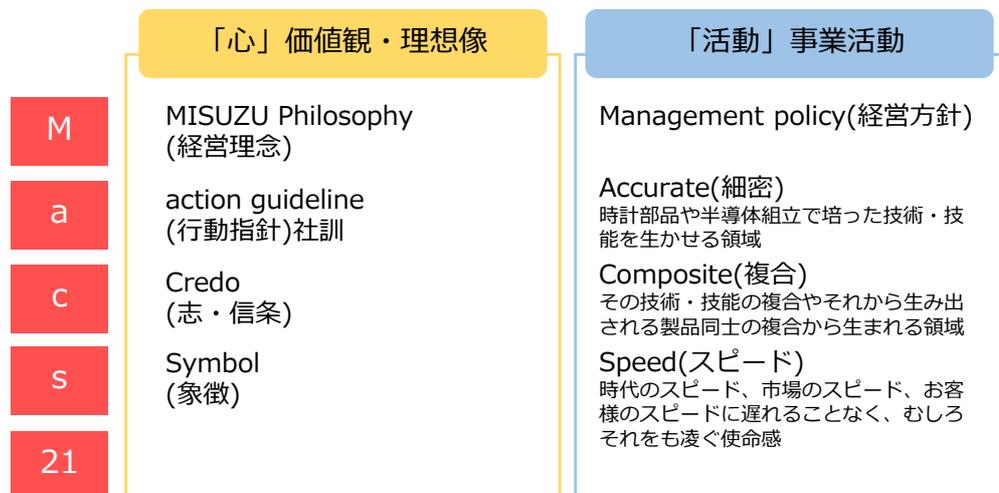
「先進」 高度な技術を磨く姿勢

■ミスズ工業 社名の由来

ファインメカトロニクス産業の一大集積地である信州・諏訪を拠点に成長・発展していこうという願いを込めて、信濃の枕詞である「みすずかる」（信州特産のみすず竹）から命名しました。

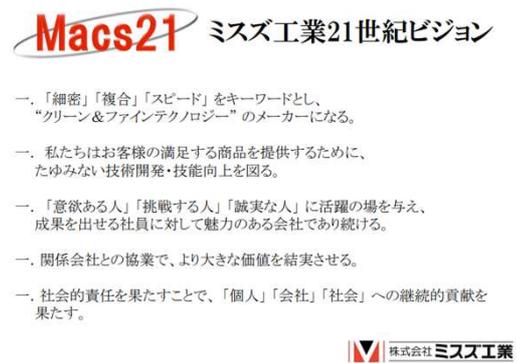
事業ビジョン（Macs21）

Macs21(マークス21)は、当社が今後21世紀において経営を展開していく上で重要となるキーワードの頭文字を組み合わせたものです。



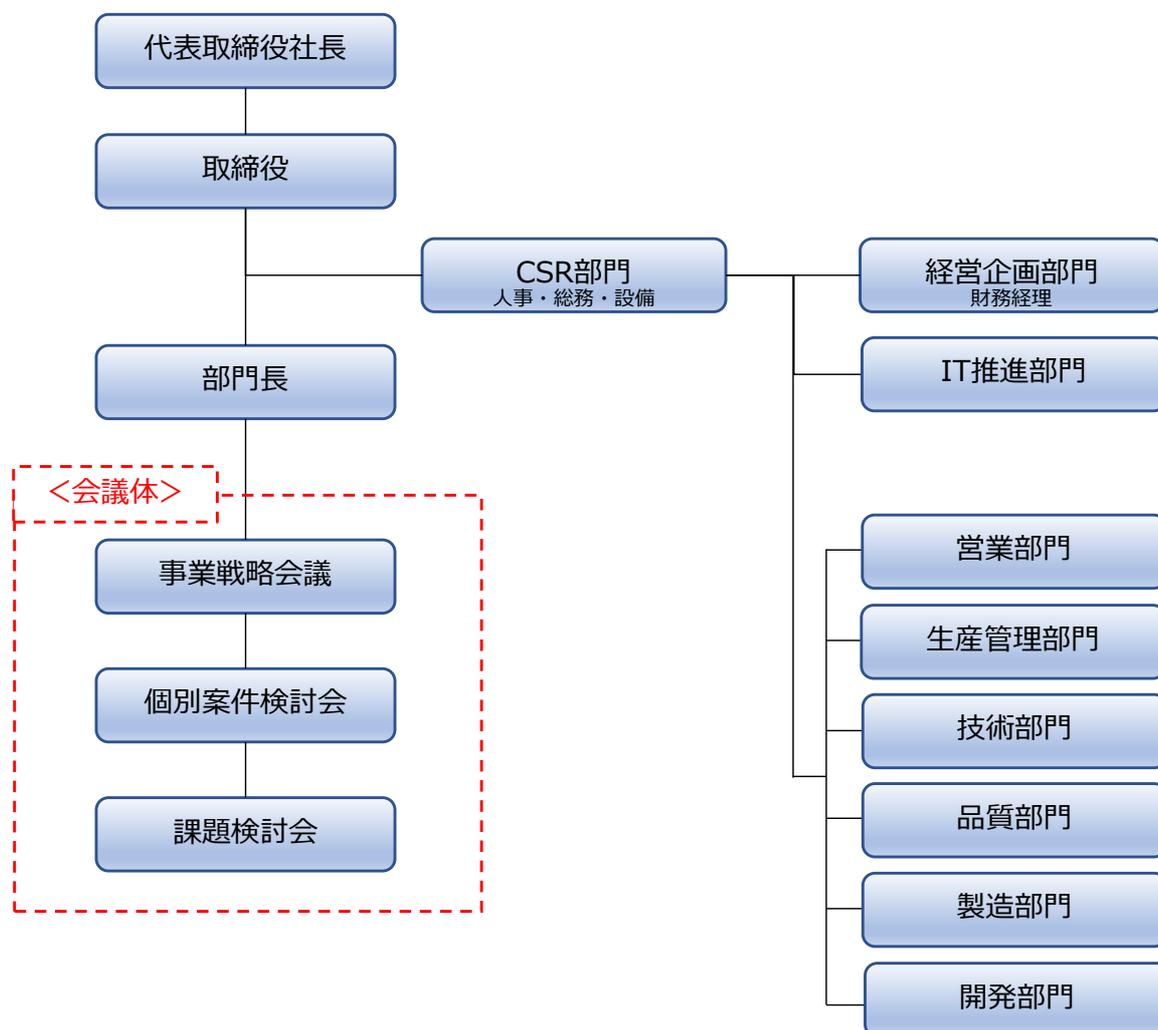
経営方針・使命

- 一、「細密」「複合」「スピード」をキーワードとし、
“クリーン&ファインテクノロジー”のメーカーになる。
- 一、私たちはお客様の満足する商品を提供するために、
たゆみない技術開発・技術向上を図る。
- 一、「意欲ある人」「挑戦する人」「誠実な人」に活躍の場を与え、
成果を出せる社員に対して魅力のある会社であり続ける。
- 一、関係会社との協議で、より大きな価値を結実させる。
- 一、環境にやさしい生産活動をおこなうことで、
「個人」「会社」「社会」への継続的な貢献を果たす。



CSR方針（企業倫理基本方針）・推進体制図

役員および従業員は、経営方針の実践を自らの重要な役割と認識し、社会的良識に従って社会的責任を果たし、良質な商品や価値を提供することを使命とします。そのために人権や環境、公正な労働慣行や事業慣行、消費者課題等において、継続的に責任を果たすべく取り組んでいきます。



役員メッセージ



取締役
兼 IT推進室長
黒澤満

ミスズ工業が長野県SDGs推進企業登録制度に登録し、SDGs取組宣言企業として取り組んでゆく明確な意思表示をしてから早1年半が過ぎました。当社の経営方針・使命には「環境にやさしい生産活動をおこなうことで、社員・会社・社会への継続的な貢献を果たす」という三社精神があります。この三社精神の新たな礎ともなりえるSDGsの理念が加えられたこととなります。

SDGsの17ゴール・169ターゲットを噛み締めながら、「当社にできることはなんだろう」「当社に期待されていることはなんだろう」を繰り返し、決意新たにミスズ工業らしく、目標達成に貢献してゆくことをお約束いたします。



取締役
兼 部品組立事業部長
向山健

環境にやさしい生産活動を行う事で、『社員』『会社』『社会』への継続的な貢献を果たす。この三社精神に則って我々生産活動を主に担う事業部としては、各生産拠点において「より少ないエネルギーで」「原材料を無駄にせず」「顧客に喜んでいただけるものづくり」を日々追求して地域社会・社員の家族が未来も安心して暮らせる事業運営に邁進してまいります。



取締役
兼 経営企画室長
山崎誠太郎

CSRすなわち企業の社会的責任とはどのようなもののでしょうか。ミスズ工業は創業当時から、広く社会に貢献できる企業を目指してきました。今後もその考えは変わりません。

SDGsは企業の社会的責任を具体的に考えることができる一つの方向性であり、これに真摯に向き合っていくことが今後の企業の存在意義や企業価値向上に繋がっていくものと考えます。

社会や経済は、いかなる企業をも一夜にして消滅させる力を持ちます。私たち企業は 社会の中で生かされているという認識をもち、皆様のあらゆるニーズに対して当社としてできることをご提案し、実行していきます。



社外取締役
(非常勤)
福島米春

世界中で持続可能性“サステナビリティ”への動きが活発化しています。将来にわたり持続的に生活できる豊かな世界にするために、経済活動と環境や社会を保護・保全する活動を両立させながら事業や取り組みが求められています。SDGsはあるべき姿と持続的な目標を具体的に特定し、世界共通の社会課題を解決して、価値提供をしていく活動です。ここで重要課題のとして、材料にやさしいものづくり開発で市場に製品を供給し、金属資源の廃材を減らしていきます。経営理念に常に立ち返り、やさしいものづくりを通じて、お客さまの困りごとや期待する価値、取り巻く社会課題をしっかりと見つめて、新たな価値を創り出すよう勤めていきます。



取締役
明思作機電(無錫)
有限公司 総経理
藤森康史

世界の国々とのビジネスが活発化した現在、常に世界そして地球環境を考えながら行動をする時代です。企業の社会的責任は自国のみならず、様々な異なる文化、価値感の人々と共に、共有し合い、協力し合って推進していくという企業行動が社会貢献であるという認識へ変えていく事が重要だと考えます。この度、当社はSDGs宣言企業として取り組んでいく事になりました。社員1人1人の活動の積み上げが地球と人類の持続可能な社会構築につながっているという意識を常に忘れずに重点目標達成に向けて活動していきます。

SDGsへの取組み

当社は、2030年のSDGs目標達成に向けた取組みを推進しています。

■SDGsとは

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の頭文字のことです。2030年までにより良い世界を目指すための国際目標です。17のゴールと169のターゲットで構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身も取り組む普遍的なもので、日本も積極的に取り組んでいます。



■SDGs宣言

経営理念にある「個人の成長が会社の成長」「会社の成長が社会の成長」の理念のもと、「環境」「社会」「経済」の変化に伴う、人類共通の重要課題を全従業員が認識し、企業活動におけるあらゆる面で自主的かつ積極的に活動していく。目指す姿を実現するため、全従業員がその役割を果たしSDGsの目標達成に貢献していきます。

2022年6月27日
全従業員に対してSDGs取組宣言をしました



■長野県SDGs推進企業登録制度への登録

当社のSDGsへの取組みの第一歩として、2022年4月に本社及び箕輪工場が所在する長野県の独自制度「長野県SDGs推進企業登録制度」に登録しました。この制度はSDGsに関して具体的なアクションに取り組む企業を登録する制度です。当社は第12期登録企業として推進企業の仲間入りをしました。

■SDGsキックオフイベントを開催

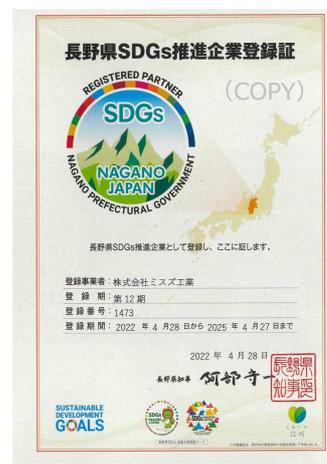
2022年6月27日にSDGsへの社内展開の第一弾として、キックオフイベントを開催しました。

- ・社長によるSDGs宣言
- ・長野県SDGs推進企業登録制度事務局を講師に招き「SDGs基礎教育」を実施

SDGs教育を聴講する従業員



外部講師「長野県産業政策課」教育資料



登録証<第12期登録>
2022年4月28日

SDGsへの取組み

■ 3つの重点的な取組み

SDGsの3本柱は環境・社会・経済がベースとなっており、当社はそれらベースに繋がる3つの重点的取組と2030年に向けた目標を決め活動を推進しています。



SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	3側面	2022年結果
製造工程において排出される二酸化炭素排出量削減	2030年目標： △10%（2019年対比） <原単位にて年率△1%>	環境	原単位前年対比3.5%削減 ⇒年率1%削減達成
女性が活躍できる企業づくり	2030年目標： 女性管理職比率10%以上	社会	女性管理職登用なし ⇒次期管理職育成に向けた教育を実施中
金属資源を大切に、材料にやさしいものづくり開発で部品・製品を市場に提供する	2030年目標： 金属資源廃材率15%削減	環境 社会 経済	岩手工場プレス部品単体での取組実施中 ⇒目標達成に向けて進行中

※重点的な取組は毎年進捗管理を行い、長野県SDGs推進企業情報サイト（NAGANO SDGs BUSINESS PORTAL）で公表しています



■ その他の取組み

● SDGs基礎教育の実施

2022年7月に管理職、2023年7月に係長職および人事部門を対象にSDGs基礎教育を実施しました。全社方針・各マネジメントシステム全社目標・部方針・課方針とSDGsの繋がりや、SDGsへ取組むメリットを教育しました。受講者にはSDGsバッジを支給し、SDGs取組企業としての理解と、組織内メンバーへの意識向上の「先導役」としての支援の協力を依頼しました。



● SDGsポスターを作成、掲示により、関心を高める取組みを実施

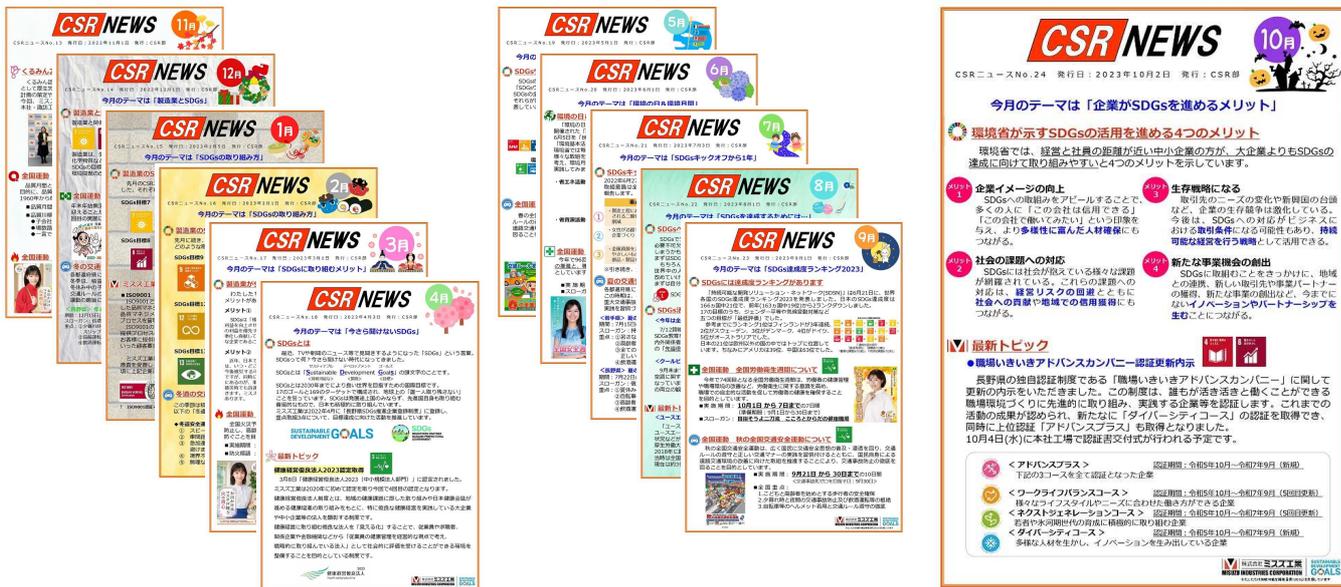


SDGsへの取組み

■ その他の取組み

● CSRニュースを毎月配信しています。

SDGs知識習得を目的に、当社ではオリジナルのCSRニュースを作成し、毎月1回従業員に向けて配信しています。ニュースには、SDGsの基礎知識や身近に取り組みめるSDGsなど、SDGsへの関心を高めていく内容を掲載しています。

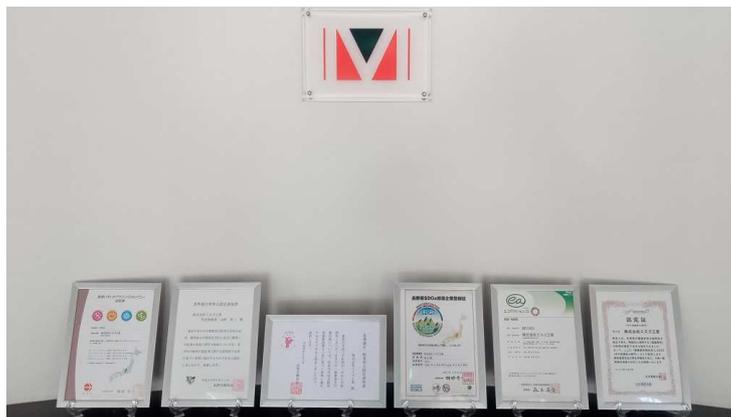


配信とは別に「いつでも目に触れる」ことを意識し、共用場所にバックナンバーの掲示と冊子を設置しています。



●当社が取得した認証を、お客様玄関にて紹介しています。

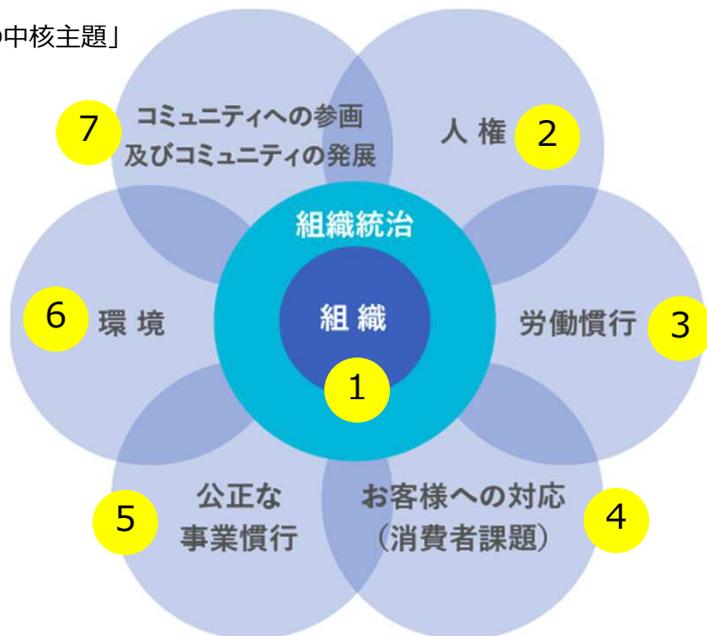
- ・ 基準適合一般事業主認定（くるみん認定）
- ・ ユースエール認定
- ・ 職場いきいきアドバンスカンパニー
- ・ 健康経営優良法人認定
- ・ 長野県SDGs推進登録制度 登録証
- ・ エコアクション21認定



事業活動への取組み

国際規格ISO26001にある“7つの中核主題”を参考に、事業活動を7つの分野に分けて考え、取組みを進めています。次項から7つの分野別に当社の事業活動を紹介します。

ISO26000「7つの中核主題」



① 組織統治

- コーポレートガバナンス
- リスクマネジメント



⑤ 事業慣行

- 汚職・収賄罪の防止
- 公正な競争
- 知的財産・個人情報の保護
- 紛争鉱物の排除
- サプライチェーンの管理



② 人権

- 基本的人権尊重
- ダイバーシティー経営
- 人材開発・育成 (キャリア開発プラン)



⑥ 環境

- 環境マネジメントシステムの運用
- 環境保全活動
- 資源の有効利用



③ 労働慣行

- ワークライフバランスの推進
- 労働安全衛生
- 健康経営



④ 消費者課題

- 製品・サービスの安全性
- 品質保証
- 環境配慮
- 社会課題解決



⑦ コミュニティ

- 社会貢献
- 地域貢献



事業活動への取組み

① 組織統治



① 組織統治

組織としての意思決定

取組み項目（重点ポイント）	取組み内容	補足
<input type="checkbox"/> コーポレートガバナンス ・社会的責任への取組み ・内部管理体制の構築 ・法令の遵守 ・各マネジメントにおける組織体制構築 <input type="checkbox"/> リスクマネジメント ・危機管理体制の構築、運用 ・事業継続計画（BCP）の構築、運用 ・防火／防災活動の推進 ・事業承継	<ul style="list-style-type: none"> 企業倫理マニュアルの社内浸透 <7つの中核主題とSDGsを関連づけ> ステークホルダーとの対話 法令遵守評価の実施 組織体制図の整備 <ul style="list-style-type: none"> 危機管理マニュアルの社内浸透 <自然災害(地震・火災・水害)発生時の行動> 事業継続計画の社内浸透 <事業復旧の際の行動> 中期／長期経営計画の検討、見直しの実施 	<input type="checkbox"/> 取組 ・災害時に安否確認メールの発信 ・総合防災訓練の実施 ・感染症拡大防止への取組みの実施
関連する規則・規程・マニュアル等	将来展望・今後の取組み項目	
<ul style="list-style-type: none"> 企業倫理マニュアル 危機管理マニュアル（訓練実施手順） 事業継続計画 消防計画 	<ul style="list-style-type: none"> CSR基礎教育の実施（eラーニング活用） コンプライアンス教育の実施（外部/eラーニング活用） 危機管理マニュアルへ想定される危機の追加 感染症危機<パンデミック>、サイバーテロ 等 防災備蓄の拡充（地域も含めた） 総合防災訓練の継続実施 	

企業倫理マニュアル

ISO26000を参考にした企業倫理マネジメントを構築し、マネジメントシステムの確立、導入、運用、監視、見直し、維持および改善の枠組みをマニュアル化しています。ステークホルダーと透明性ある公平なお取引や関係性構築のため、通報相談窓口を設置し、ホームページに相談方法や、書類送付先を記載しています。

また、調達に関するコンプライアンス上の逸脱行為（契約違反行為や贈答接待の強要など）がある場合も同様に受付する仕組みを設けています。



危機管理マニュアル

役員・従業員が地震、風水害・雪害等の自然災害、火災、または感染症等様々な危機に、直接または間接的に遭遇し、それらの危機により、当社が人的、物理的または財務的な損害を被り、または被る可能性が高い状態に陥ったときの危機管理の基本事項をマニュアル化しています。当社で想定される危機を、軽微な危機、中程度の危機、大規模な危機と災害レベルに応じた3つに分類し、それぞれの危機に遭遇した際の行動をマニュアルに示しています。マニュアルには、危機に遭遇した際にスムーズかつ能動的に行動ができるように訓練を継続実施することを記載し、毎年1回防災訓練を行い、行動を明確にしています。

事業活動への取組み

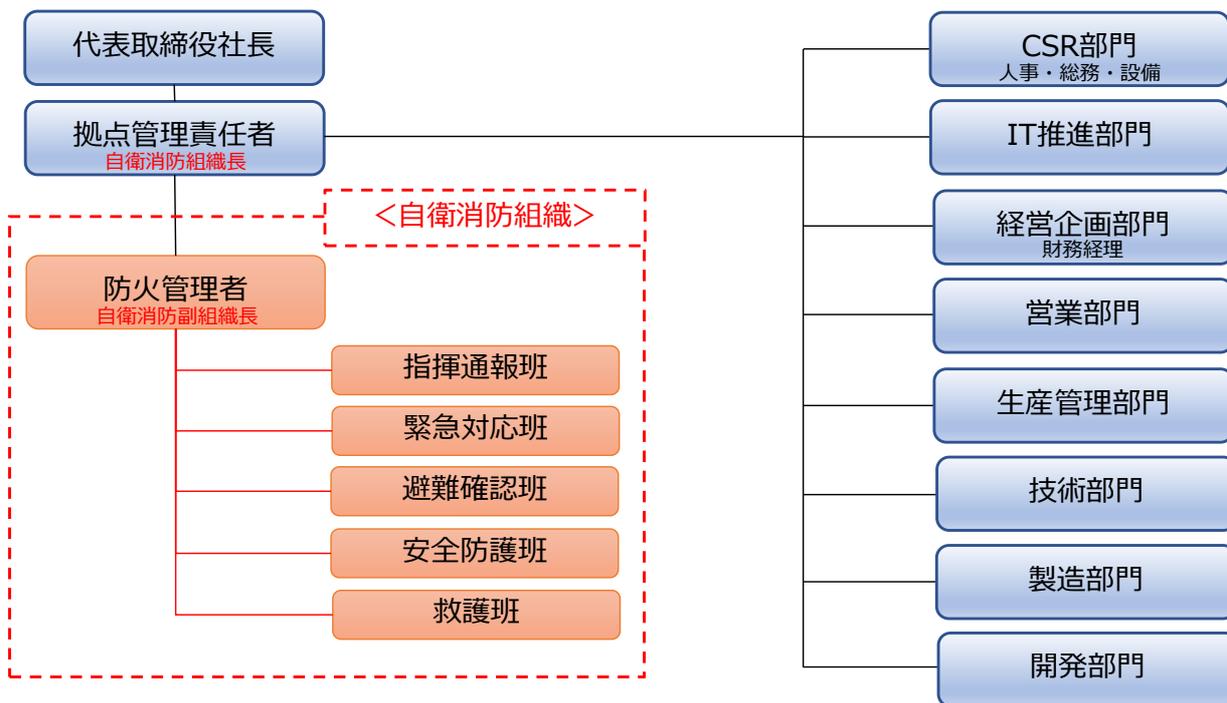
① 組織統治

事業継続計画 (BCP)

危機管理マニュアルのうち、大規模な危機にて事業停止等の損害を被った際の復旧手順を事業継続計画 (BCP) にて定めています。災害別に行動基準、復旧手順、災害対策本部設置手順、安否確認手順、各部門の復旧業務役割等を明記し、全従業員一丸となり、いち早く復旧するための内容を記載しています。災害時の行動手順を明記した災害時行動情報カードを作成し、従業員に配布しています。



防災組織体制図 (自衛消防組織含む)



防災活動

当社では年1回防災訓練を実施しています。ここ数年間は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密を避けた訓練（動画視聴方式や講話方式）を行いました。事業継続計画 (BCP) の全面改訂を行った際は、BCPにどのような事が記載されているかを説明しました。大規模な災害が発生した際、自分はどのように行動したら良いのか、事業が停止してしまった場合、どのような手順で復旧させるか等の内容を全従業員が理解しました。防災訓練の時期に合わせ、グループウェアの安否確認機能を活用した安否確認訓練も実施しています。今までに7回の訓練を実施し、発報から24時間以内の回答率は年々あがってきました。2021年8月には本社工場がある諏訪圏域で豪雨災害が発生したり、2022年3月には岩手工場にて震度5強の地震が発生しました。その際は実際に安否確認メールを発報し、従業員とその家族の安否が無事であることを確認しました。



感染症拡大防止への取組み

2023年5月に新型コロナウイルスが第5類に移行し、生産活動への影響を最小限に留めるため、Withコロナを意識した取組みを進めています。

事業活動への取組み

② 人権

10 人や国の不平等をなくそう



② 人権

デューディリジェンス、人権に関する危機的状況、加担の回避、苦情解決、差別及び社会的弱者市民的及び政治的権利、経済力・社会的及び文化的権利、労働における基本的原則及び権利

取組み項目（重点ポイント）	取組み内容	補足
<input type="checkbox"/> 基本的人権尊重 ・差別、ハラスメントの禁止 <input type="checkbox"/> ダイバーシティ経営 ・多様な人材が活躍できる環境整備 （女性・外国人・障害者・高齢者等） <input type="checkbox"/> 人材開発・育成 （キャリア開発プラン） ・個々のキャリア形成の機会均等化と支援 ・定年退職者のセカンドキャリア支援	・ハラスメント相談窓口の設置 ・障害者職業生活相談員の設置 ・女性活躍推進法に基づく女性管理職の育成 ・障害者雇用の課題整理 ・社内規則「キャリア開発制度規則」の運用 ・社員のスキルアップ支援の実施 （資格取得報奨金や補助金制度の導入） ・セルフキャリアドックの実施 （シニア社員へキャリア研修の実施）	<input type="checkbox"/> 保有認定・資格 ・ユースエール認定更新5回目 （2023年6月30日） ・いわて女性活躍認定企業等認定ステップ1認定 （2021年3月3日） <input type="checkbox"/> 取組 ・女性管理職育成 <係長職へ登用> 実績：2022年(6名) ↓ 2023年(8名)
関連する規則・規程・マニュアル等 ・キャリア開発支援制度規則 ・人事評価規則 ・採用規程 ・ハラスメント防止規程	将来展望・今後の取組み項目 ・障害者雇用（法定雇用率達成） ・エイジフレンドリーな職場づくり ・人権教育の実施 ・いわて女性活躍企業等認定制度「ステップ2」認定取得	

キャリア開発支援制度

「個人の成長が会社の成長」の経営理念に基づき、企業発展のために従業員は常に啓発の努力を怠っていません。従業員は、職場内教育(OJT)の他に、積極的に職場外教育(Off-JT)に参加し、自らの技能・技術を高めています。また、自己啓発(SD)にも力を入れています。その取組を支援するために、キャリア開発支援制度や自己啓発支援制度があります。

ユースエール

ユースエール認定とは、2015年10月1日施行の若者雇用促進法によって創設された、若者の採用・育成に積極的で若者の雇用管理の状況などが優秀な中小企業を厚生労働大臣が認定する制度です。認定を受けるためには「直近3事業年度に正社員で就職した新卒者などの離職率が20%以下であること」などの多くの基準を満たすことが必要になります。認定を受けた企業は都道府県労働局やハローワークによる採用活動におけるマッチング支援をいただくことができます。当社は2018年に認定を取得し、毎年認定を更新しています。2023年度は5年連続で更新となり、2023年12月の表彰式に招待されました。



いわて女性活躍認定企業登録制度

女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む企業や団体等を「いわて女性活躍認定企業等」とし、岩手県独自の制度として認定しています。当社は2021年3月に認定基準を満たし「いわて女性活躍認定企業等（ステップ1）」の認定を受けました。今後は（ステップ2）への申請を予定しています。



事業活動への取組み

③ 労働慣行

5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も



③ 労働慣行

雇用及び雇用関係、労働条件及び社会的保護、社会対話、労働における安全衛生
職場における人材育成及び訓練

取組み項目（重点ポイント）	取組み内容	補足
<ul style="list-style-type: none"> □ワークライフバランスの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・労働時間の管理 ・出産・育児と仕事が両立しやすい職場づくり ・労使のパートナーシップによる職場づくり □労働安全衛生 <ul style="list-style-type: none"> ・安全で衛生的な労働環境の整備 □健康経営 <ul style="list-style-type: none"> ・健康管理の推進 ・健康増進への取組み ・メンタルヘルスの取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤怠管理システムにより長時間残業者の把握と労使連携による相互監視の実施 ・育児・介護休業、積立有給休暇、フレックスタイム制勤務などワークライフバランスを考え働きやすい環境を提供 ・安全衛生委員会の実施 ・安全パトロールの実施 ・従業員を守るためリスクアセスメントの実施 ・健康相談・メンタルヘルス相談窓口の設置 ・ストレスチェックの実施 ・健康維持増進活動の実施（健康づくり講習） ・産業医による健康相談の実施 ・カウンセラーによるメンタルヘルス相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> □保有認定・資格 <ul style="list-style-type: none"> ・基準適合一般事業主認定（くるみん認定）認定2回目（2022年9月8日） ・職場いきいきアドバンスカンパニー認定更新2回目（2023年10月4日）アドバンスプラス初取得 ・健康経営優良法人認定認定4回目（2023年3月8日） □宣言 <ul style="list-style-type: none"> ・社員の子育て応援宣言第4期（2022年7月1日） ・いわて働き方改革推進運動宣言（2018年7月13日） ・健康づくりチャレンジ宣言更新（2023年8月31日）

関連する規則・規程・マニュアル等	将来展望・今後の取組み項目
<ul style="list-style-type: none"> ・就業時間管理規則 ・育児／介護休業規則 ・フレックスタイム制勤務規則 ・健康診断実施規程 ・ストレスチェック制度実施規程 ・安全衛生マニュアル（リスクアセスメント実施手順） 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生優良企業認定制度 認定取得 ・健康経営優良法人制度「プライト500」認定取得 ・えるぼし認定制度 認定取得 ・プラチナくるみん認定制度 認定取得

当社に掲示している健康ポスター



事業活動への取組み

労働安全衛生方針

労働安全衛生基本理念

当社は、従業員の安全・健康を守ることの重要性を認識し、SDGsを踏まえた企業活動により、安心して働ける快適な職場環境を実現するために行動します。

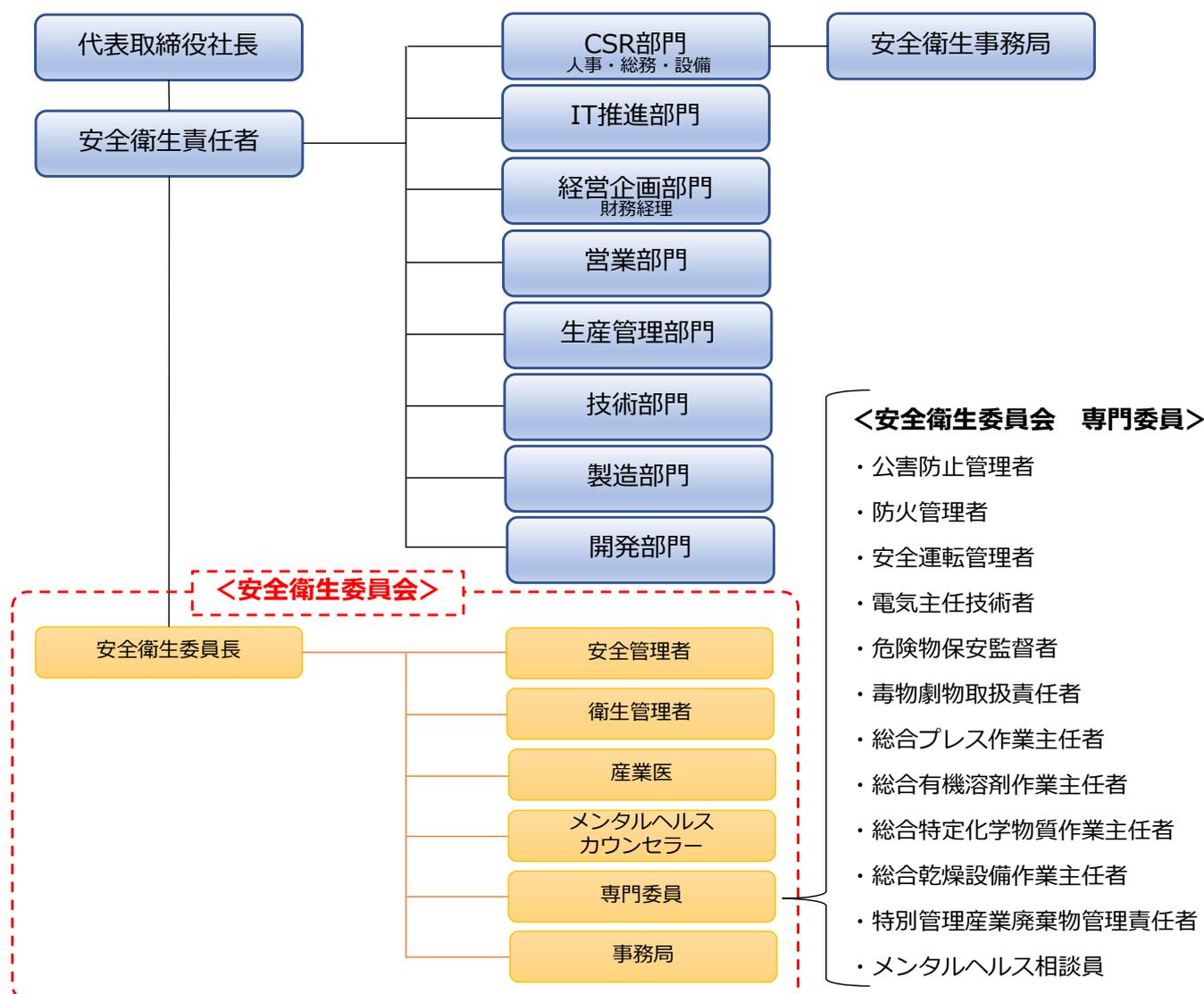
労働安全衛生方針

当社は、労働安全衛生理念にある企業活動において、法規制に遵守し、潜在するリスクの管理、改善を行い、事故および災害の発生防止に努め、従業員の安全・健康の向上を目指します。

- (1) 安全衛生関係諸法令、当社の規程・基準を遵守します。
- (2) 職場や作業に潜むリスクに対する感性を高め、労働災害の防止を図ります。
- (3) 健全な精神と身体を形成するための施策を実践します。
- (4) 安全衛生意識の向上と自主的な活動の促進を図るために必要な教育を実践します。
- (5) 災害の発生防止と従業員の健康促進に向けた目標を定め、全社活動を実践します。

※労働安全衛生方針は、文書により全従業員に周知させ、社会にも公表します。 2023年4月1日

安全衛生管理体制図



※委員会は長野地区／岩手地区で組織しています

※産業医およびメンタルヘルスカウンセラーを除く委嘱委員は社長が任命しています

事業活動への取組み

③ 労働慣行

安全の取組み

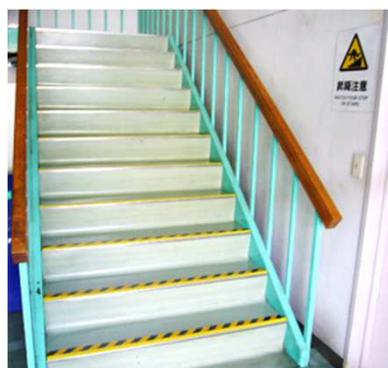
「安全第一」を最優先とし、従業員が快適で働きやすい職場づくりに向けて取り組んでいます。2021年からリスクアセスメントに力を入れ、職場内のリスクを拾い出し、リスク低減策を考え、考えた対策を実行することで労働災害の防止に繋がっています。また、安全管理者、衛生管理者、産業医、安全衛生関連有資格者、労働組合代表者などを委員とした「安全衛生委員会」を毎月開催し、労働安全や産業衛生に関する議論を行い、災害ゼロを目指した活動を展開しています。

また、国際規格ISO45001「労働安全衛生マネジメントシステム」を参考に、労働安全衛生マニュアルを作成し運用しています。



リスクアセスメント

全ての事業活動において、職場に潜む危険源（リスク）の低減や排除を目的に、当社ではリスクアセスメント実施手順に沿って、年に1回実施しています。拾い出されたリスク項目やリスク評価点数は、安全衛生委員会による安全パトロールにて確認を行い、リスク低減に向けた取組みを進めます。リスクアセスメントでは災害や健康障害の発生のおそれがある状況も確認し改善しています。以下は、数年前に当社で発生した労働災害の再発防止対策として、全拠点で水平展開した項目になります。



対策



- ← 階段からの滑り落ち事故発生後、再発防止対策として全拠点の階段を全て右側通行に変更
- ・階段にセンターラインと矢印明示
 - ・転倒防止ポスター掲示
 - ・滑り止めテープ張替
 - ・トラテープ張り直し

2023年には、従業員出入口に設置している下駄箱が地震等で転倒した場合、非常口を封鎖し逃げ遅れ者が発生するという観点から、転倒防止対策を行いました。何気ない作業環境から小さなリスクを拾い出し、改善を重ねることで、安全な工場づくりを目指しています。



対策



拡大



事業活動への取組み

③ 労働慣行

産業衛生の取組み

従業員の身体、精神面での健全化を目指すために様々な施策を企画し実行しています。

①メンタルヘルスへの取組み

2015年に実施が義務化されたストレスチェック制度に基づき、メンタルヘルスカウンセラーと相談し実施しています。個人の結果については、自らのセルフケアの他に、産業医やカウンセラーとの相談窓口を設置しています。集団分析として組織の結果はカウンセラーを交えた検討を行い、ケア体制を構築しています。

②受動喫煙防止の取組み

2020年10月から工場敷地内を全面禁煙としました。これを機に禁煙を始めた従業員もいます。



③インフルエンザ予防接種の実施

インフルエンザの感染予防として、ワクチン接種を毎年会社で実施しています。予防接種費用の一部を会社が負担しています。

④献血への協力

団体からの協力依頼に基づき、年1回献血を実施しています。希望者のみとなりますが多くの従業員に協力いただいています。2023年7月、岩手工場において当社が26年間継続実施してきた献血バスの受け入れによる献血推進活動への取組みが評価され、岩手県および日本赤十字社岩手県支部様より「令和5年度岩手県献血推進協力団体等表彰」の一つである「厚生労働大臣感謝状」をいただきました。

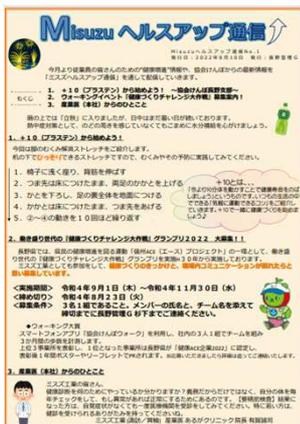


⑤健康保持・増進支援

健康診断結果に基づき、保健師による健康相談を実施しています。健康相談を通じて従業員の健康の保持・増進の支援を行っています。その他にも各種機関と相談し健康づくり講習の実施も行っています。

⑥Misuzuヘルスアップ通信の配信

従業員に向けて健康増進情報や協会けんぽからの最新情報を配信しています。2023年8月からWEB社内報（SHAHO MISUZU）へ配信方法を変更し、いつでもどこでも読めるようにしました。



事業活動への取組み

健康経営優良法人2023

健康経営優良法人制度は、地域の健康課題に即した取組みや日本健康会議が進める健康増進の取組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業の法人を顕彰する制度です。健康経営に取組む優良法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的としている制度です。

当社は2020年に初認定取得以降「健康経営優良法人（中小規模法人部門）」に4年連続で認定を取得しています。



③ 労働慣行

健康づくりチャレンジ宣言

全国健康保険協会長野支部と連携し、健康づくりに関するチャレンジ宣言を2023年8月に更新しました。

■ 健康づくりチャレンジ宣言

私たちは全社を挙げて健康づくりに取組み、心身共に元気な職場 <健康企業> を目指します。

【基本姿勢】

- ①協会けんぽと連携し、従業員の心と身体の健康づくりに取組みます。
- ②従業員へ健康保持増進に関する研修や情報提供を行います。
- ③健康づくりの取組みを通じ、従業員同士のコミュニケーションを促進します。

【具体的な取組内容】

- ①従業員の健康診断受診率を100%とし、健診結果を協会けんぽに提供します。
- ②従業員の特定保健指導の実施率を40%以上とします。
- ③毎日ラジオ体操（ストレッチ・ヨガ）を実施します。
- ④健康づくりの情報を月1回従業員に伝えることにより健康意識を高めます。



健康づくり活動

全国健康保険協会長野支部が企画している「信州ウォーキング大賞2023」に事業所として参加しています。本取組みは、「信州ACE（エース）プロジェクト」の一環として、長野県内の事業所等における健康づくりの取組みを進めるために、ウォーキングイベントを2018年度から実施しています。「誰でも手軽に思わず歩きたくなる楽しいウォーキング」をコンセプトにしたスマートフォンアプリ『協会けんぽウォーク』を利用し、事業所内で歩数を競い合い、社内の仲間同士で楽しくコミュニケーションを図りながら、ゲーム感覚でウォーキングラリーに取り組んでいます。2023年度は全7チーム（1チーム3人）で参加しています。



事業活動への取り組み

健康づくり活動

企業の健康づくり推進アクションに取り組んでいる、明治安田生命保険株式会社様の健康づくりイベントを2023年6月に実施しました。

野菜摂取量調査（ベジチェック）や自立神経チェッカー測定などの測定会を行いました。お互いの結果を見せ合うことで、社員のコミュニケーション促進にも繋がりました。



働きやすい職場づくり

働きやすい職場とは「評価制度や配置」「人材育成」「業務管理・組織管理」「福利厚生」などの雇用管理制度が充実していくことで働きやすい職場が目指せます。当社では、様々な施策を考え実践しています。

2023年7月、約15年ぶりに社内報の発行を再開しました。以前は紙媒体の冊子を従業員に配布していましたが、環境配慮を視野に入れ、WEB版で発行しました。各自のスマートフォンやパソコンで記事をいつでも読むことができます。アクセス数を伸ばすために、毎週記事を配信したり、従業員向けに広告を出したりする取り組みを行っています。

WEB社内報従業員向け広告

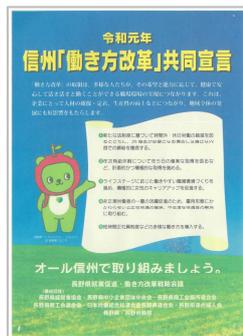
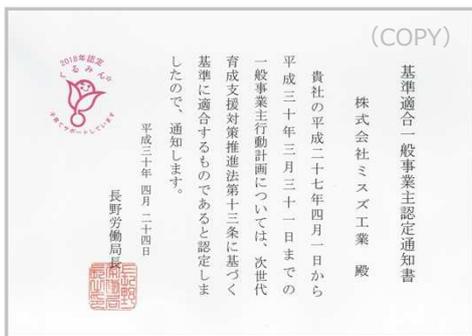
SHAHO MISUZU

事業活動への取組み

基準適合一般事業主認定（くるみん）

くるみん認定とは、次世代育成支援対策推進法に基づき、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準（次世代育成支援対策推進法第13条）を満たした企業は、申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定（くるみん認定）を受けることができます。

当社は2018年4月に認定を受け、子育てをする環境が整っている会社の証となり、「子育てと仕事が両立できそう」「子育てに理解のある会社」など、企業としてのイメージ向上や優秀な人材確保・採用に繋がっています。



職場いきいきアドバンスカンパニー

誰もが生き生きと働くことができる職場環境づくりに先進的に取り組み、実践する企業を「職場いきいきアドバンスカンパニー」とし、長野県独自の制度として認証しています。当社は2016年に当時長野県南信地区では初の認証企業となり、認証書授与式を本社工場で執り行いました。2021年に制度内容が変わり、「ワークライフバランスコース」「ネクストジェネレーションコース」の2つのコースで認証を持っていましたが、2023年には認証更新の内示をもらうことができました。今回新たに「ダイバーシティコース」の認証を取得でき、さらに上位認証（条件：全てのコースで認証取得が必要）である「アドバンスプラス」も取得することができました。

アドバンスプラス	2023年10月～2025年9月（初）
ワークライフバランスコース	2023年10月～2025年9月（5回目）
ダイバーシティコース	2023年10月～2025年9月（初）
ネクストジェネレーションコース	2023年10月～2025年9月（5回目）



事業活動への取組み

④ 消費者課題

12

つくる責任
つかう責任④
消費者課題

公正なマーケティング、情報及び契約慣行、消費者の安全衛生の保護、
消費者に対するサービス・支援・並びに苦情及び紛争の解決
消費者データ保護及びプライバシー、必要不可欠なサービスへのアクセス、教育及び意識向上

取組み項目（重点ポイント）	取組み内容	補足
<input type="checkbox"/> 製品・サービスの安全性 ・製品の安全を確保するための仕組みの構築 ・品質事故の防止徹底による消費者安全の確保 <input type="checkbox"/> 品質保証 ・品質の良い製品を提供する仕組みの構築 <input type="checkbox"/> 環境配慮 ・環境に配慮した製品の開発や設計への取組み <input type="checkbox"/> 社会課題解決 ・社会課題を解決する製品の開発への取組み	・製品含有化学物質管理基準に基づき、製品の安全を保障する仕組みを構築 ・ISO9001に基づき、品質保証の仕組みを生産活動へ落とし込み事業活動を展開 ・品質教育の実施 ・作業員認定の取組み（例：検査工程） ・環境配慮として廃材の減少を目的とした設計 ・顧客の要求に基づき、社会課題を解決する製品を展開するために間接的に協力	<input type="checkbox"/> 保有認定 ・ISO9001:2015認定 （2018年3月15日） 再認定 （2021年3月9日） 維持 （2022年4月8日）
関連する規則・規程・マニュアル等	将来展望・今後の取組み項目	
・品質マニュアル（検査管理基準） （製品含有化学物質管理基準） （教育・訓練管理基準） ・職務発明管理規程	・品質クレーム、苦情ゼロ ・作業員の多能工化 ・ユニバーサルデザインへの取組み	

品質方針

品質基本理念

当社は、社員・会社・社会の“三社成長の精神”と法令・規制遵守を基本とし、SDGsを踏まえた企業活動により、お客様が満足する商品・サービスを提供する事で、広く社会に貢献します。

品質方針

当社は、品質基本理念にある「お客様の満足する商品を提供する」ために、以下に基づき品質マネジメントシステムの継続的な改善に努め、将来にわたりお客様に信頼される“品質”と“顧客満足”を提供することを約束します。

- (1) お客様が満足する、品質を作ります。
- (2) 三直三現主義を常に実践します。
- (3) PDCAを迅速にまわします。
- (4) 全社員が技術・技能を磨きます。

※品質方針は、文書により全社員に周知し、社外にも公表します。

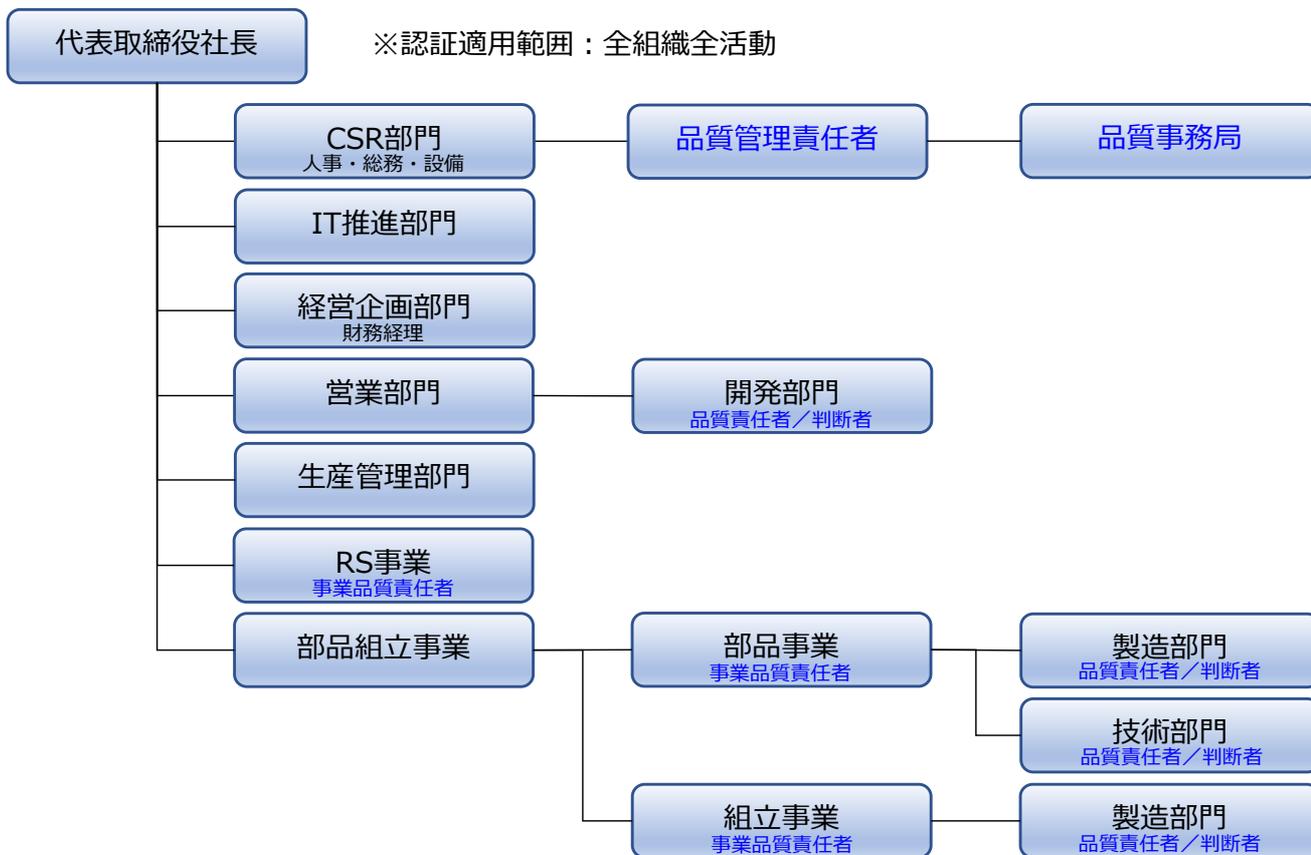
2023年4月1日

ISO9001

2018年3月に「株式会社ビューローベリタスジャパン」様による審査を受審し、品質マネジメントシステム「ISO9001:2015」の認証を取得しました。その後、再認証を2021年3月に取得し、製品の品質保証に努めています。

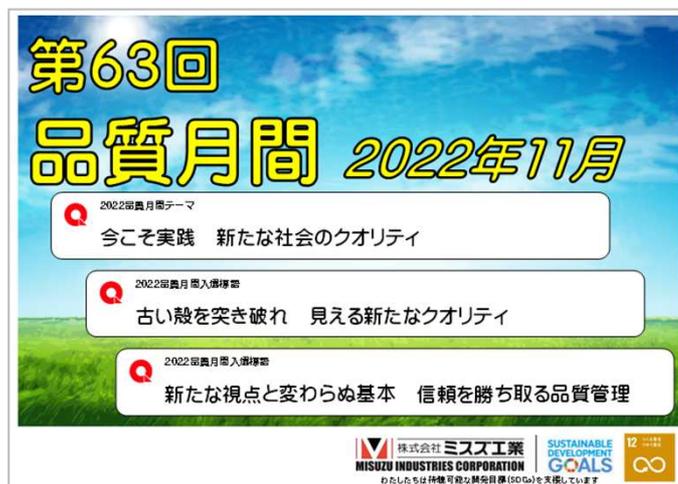
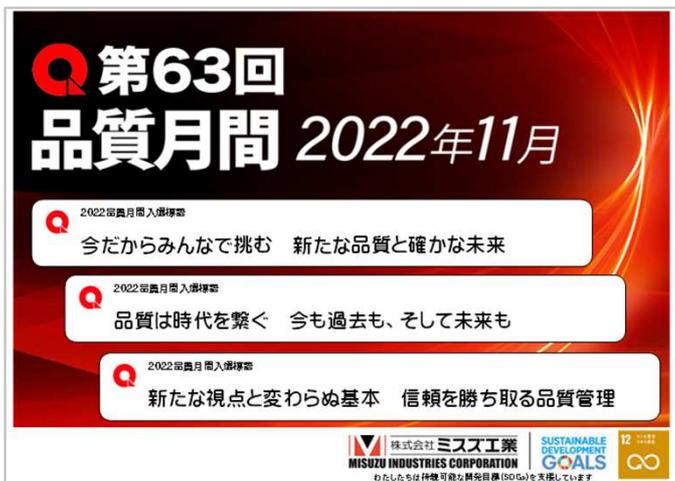
事業活動への取り組み

品質管理体制図



品質月間

製品の品質は会社の生命と考えています。お客様に満足いただける製品を継続的に提供できるように、品質マネジメントシステムに基づく運用、内部監査の実施に取り組んでいます。新しく入社する従業員へは品質教育を実施し、品質とは何かの基礎知識を習得し、品質の重要性を学びます。毎年11月の全国品質月間では、自社ポスターを掲示し品質向上に努めています。



事業活動への取組み

⑤ 公正な事業慣行

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



⑤ 事業慣行

汚職防止、責任ある政治的関与、公正な競争、バリューチェーンにおける社会的責任の推進、財産権の尊重

取組み項目（重点ポイント）	取組み内容
<input type="checkbox"/> 汚職・収賄罪の防止 ・禁止する方針を掲げ、従業員へ周知させる <input type="checkbox"/> 公正な競争 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、従業員へ周知させる <input type="checkbox"/> 知的財産の保護 <input type="checkbox"/> 個人情報の保護 ・情報セキュリティ事故ゼロに向けた管理体制の構築 <input type="checkbox"/> 紛争鉱物の排除 <input type="checkbox"/> サプライチェーンの管理 ・取引先評価の実施 ・新規取引先選定評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> 倫理マニュアルに汚職/収賄罪/不正競争行為の禁止反社会的勢力排除宣言/に関する方針を盛り込み、従業員が閲覧できるグループウェアに掲載 職務発明管理規定を制定し自社で保有する知的財産（特許・商標）の管理を実施 特定個人情報取扱規程を制定し体制を整備 製品に紛争鉱物を排除するための取組み実施 情報セキュリティー教育の実施 サプライチェーンへのCSR取り組みの通知・合意
関連する規則・規程・マニュアル等	将来展望・今後の取組み項目
<ul style="list-style-type: none"> 情報システム管理規程 特定個人情報取扱規程 職務発明管理規程 品質マニュアル（購買先管理基準） 	<ul style="list-style-type: none"> グリーン調達ガイドラインの策定、運用 サプライチェーンへのCSR調査実施、CSR推進依頼

セキュリティー教育

2023年6月と9月の全体朝会にて全従業員に対し、社員のITセキュリティー知識向上を目的に、ITセキュリティーに関する教育を実施しました。



事業活動への取組み

⑥ 環境



⑥ 環境

汚染の予防、持続可能な資源の利用、気候変動緩和及び適用、環境保護・生物多様性及び自然生息地の推進

取組み項目（重点ポイント）	取組み内容	補足
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステムの運用 ・環境情報の開示 <input type="checkbox"/> 環境保全活動 ・エネルギー/温室効果ガスの現状把握 ・省エネ/温暖化対策の計画、取組み ・有害化学物質の管理 ・生物多様性への環境配慮 <input type="checkbox"/> 資源の有効利用 ・廃棄物の適切な管理 ・3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進 ・水資源の管理	・エコアクション21中央事務局ホームページにて環境経営レポートを公開 ・環境法規制の遵守 ・月度単位でエネルギー使用量と温室効果ガス排出量を監視、結果を経産省へ報告 ・取扱い化学物質を一覧表で管理、把握 ・廃棄物分別によるリサイクルの推進 ・月度単位で水の使用量を監視	<input type="checkbox"/> 保有認定 ・エコアクション21認定 (2021年10月26日) 再認定 (2023年10月26日)
関連する規則・規程・マニュアル等	将来展望・今後の取組み項目	
・環境マニュアル (業務運用管理基準)	・天然資源の持続的利用に配慮した調達への取組み ・再生可能エネルギーの利用 ・自社発電設備の導入 (太陽光パネル等) ・建物の断熱化 ・環境に配慮した自動車へ切替 (EV、ハイブリッド等) ・環境に配慮したモノづくり (廃材削減、梱包形態変更等)	

環境経営方針

環境基本理念

当社は、社員・会社・社会の“三社成長の精神”と法令・規制遵守を基本とし、SDGsを踏まえた「環境にやさしい企業活動」により、広く社会に貢献します。

環境方針

当社は、環境基本理念にある「環境にやさしい企業活動を行う」に基づき、継続的な環境に配慮した企業活動を行う事で環境保護および汚染防止を推進します。

- (1) 当社に關係する環境法令および規制を順守します。
- (2) 当社が行う全ての企業活動において、環境への影響を評価し、身の丈にあった目標を定め、活動を推進します。
 - ① 二酸化炭素排出量の低減を推進します。
 - ② 資源の有効活用と廃棄物のリサイクルの徹底を図ります。
 - ③ 環境に配慮した製品の提供・開発を図ります。
- (3) 環境活動を向上させるため、環境マネジメントシステムの継続的な改善を図ります。
- (4) 全従業員に対し、環境に関する教育および意識向上活動を実施します。

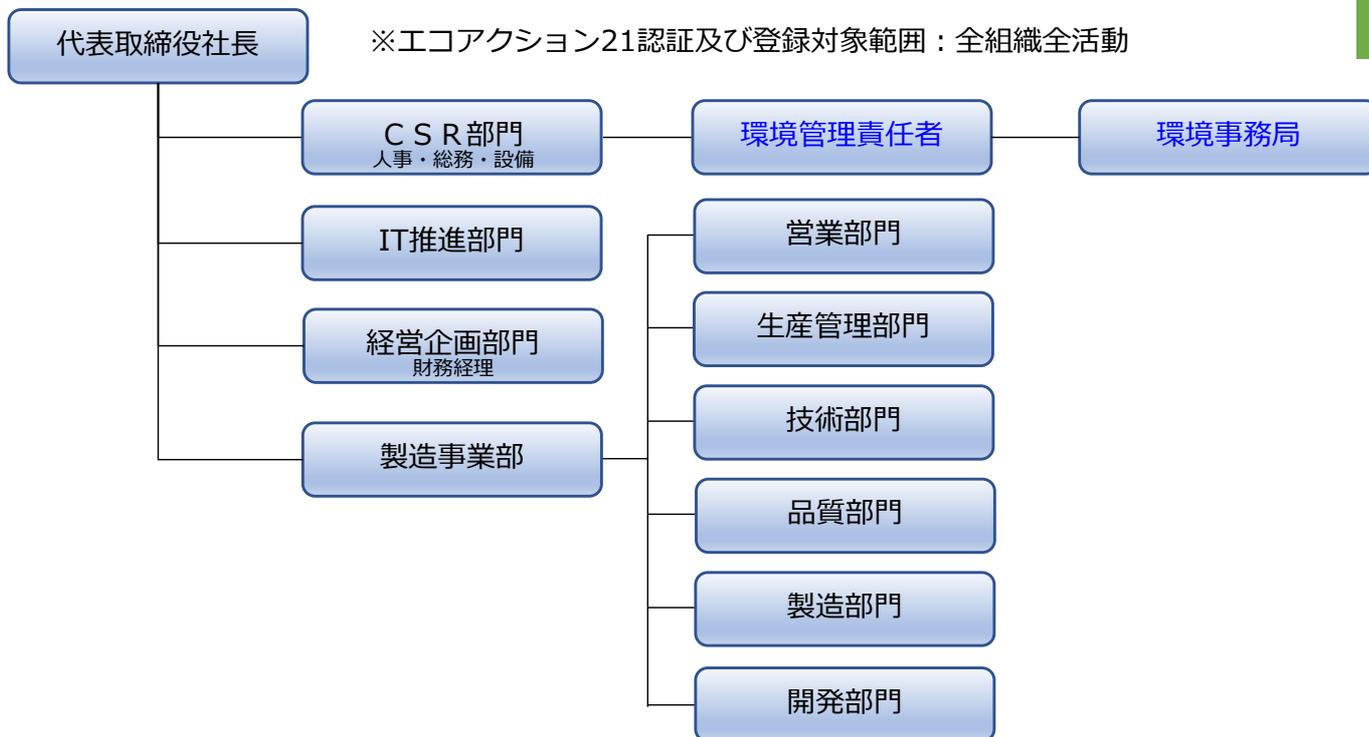
※環境方針は、文書により全従業員に周知させ、社外にも公表します。

2023年4月1日

事業活動への取組み

⑥ 環境

環境管理体制



エコアクション21

2021年10月に環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証を取得し、全拠点で環境活動を推進しています。



環境経営レポート
公式サイト QRコード



環境の取組み

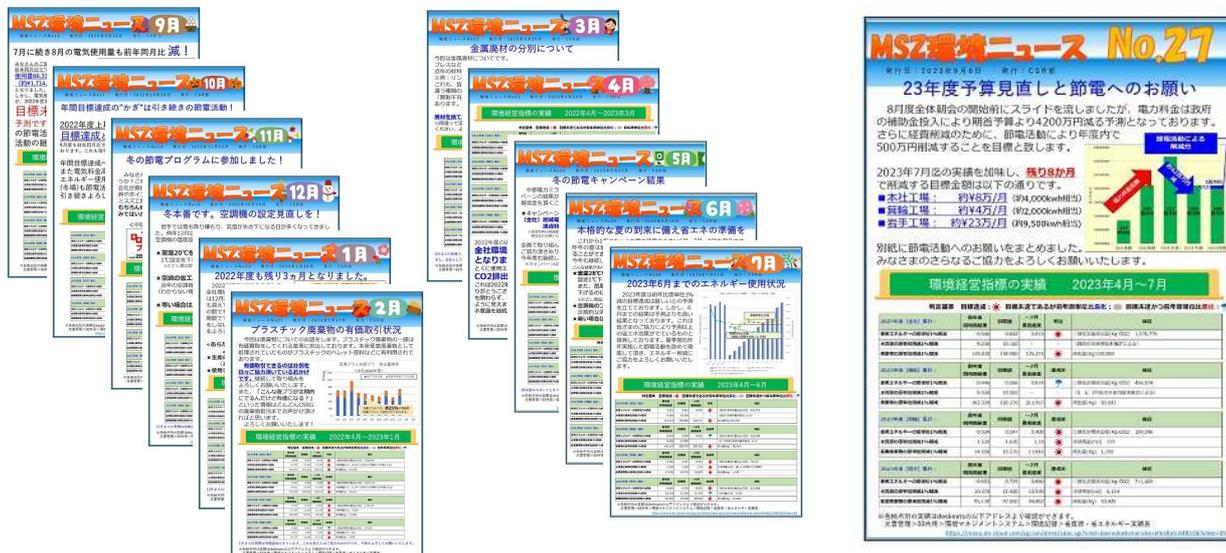
- 環境法規制の遵守評価
⇒年1回遵守評価実施
- 廃棄物分別（3R）の取組み
⇒分別ルールを定め、3Rを意識した活動の推進
- 生物多様性の保全取組み（緑地帯整備）
⇒工場緑地帯を定期的に整備し、
不要植物は適切な方法で除去
- 環境内部監査の実施
⇒年1回実施
- 環境基礎教育の実施
⇒入社もしくは派遣労働者受入時教育実施
- 水資源削減の取組み
⇒自動給水システムにより水の使用量削減

事業活動への取組み

⑥ 環境

環境ニュース 配信

環境事務局にて環境ニュースを作成し、毎月1回従業員に向けて配信しています。環境に関する知識や環境法規制をトピックとして掲載し、毎月の省資源・省エネ活動実績も報告しています。



環境啓蒙活動

環境に関する啓蒙活動を取り組んでいます。どのような掲示が従業員の目に留まるかを意識し作成しています。2022年度から当社オリジナルの「COOLBIZ」と「WARMBIZ」について、全従業員が取り組めるよう、服装ルールを明確にし、周知とポスター掲示を行っています。



トイレに流水音発生器を設置

従業員からの省資源アイデアを採用し、トイレに流水音発生器を設置し、節水対策しました。感染症拡大防止のため、非接触タイプを採用しています。



<流水音発生器>
手をかざすと約25秒間流水音を発生させることができます。



事業活動への取組み

エネルギー使用合理化支援事業に参加

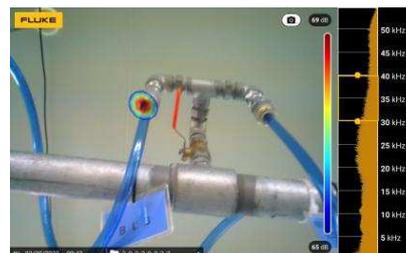
箕輪工場は、長野県工業技術総合センター様の「2021年度工場エネルギー使用合理化支援事業」に申請し、省エネルギー化の促進、生産コストの削減や収益向上を目的に活動を実施しました。生産で使用する設備等の省エネ化を目的に支援いただき、数多くのご提案をいただきました。超音波カメラにて漏気箇所の配管を特定し修理を実施しました。2022年度に自社で漏気測定できる機器の選定、2023年度に購入しました。その他にも省エネに関するアドバイスも多数いただき、改善しました。

★エネルギー使用合理化支援事業とは
エネルギー消費量の多い設備の使用状況を調査し“見える化”し、ムダの削減、運転効率向上等の改善提案を行うことにより、企業の省エネルギー化や生産コスト削減への取組を支援する事業です。

検討会風景（2021年箕輪工場）



超音波カメラによる配管のエア漏れ測定



省エネ最適化診断を受診

岩手工場は、一般財団法人省エネルギーセンター様の「省エネ最適化診断」に申請し、診断していただきました。専門家目線で工場を確認し、電力削減に効果的な改善アイテム（エア漏れ防止、ポンプファンのインバータ化、温水ボイラーのエコキュート化など）を提案いただきました。診断結果を基に、2023年にもインバーター制御型コンプレッサーを追加導入する予定です。

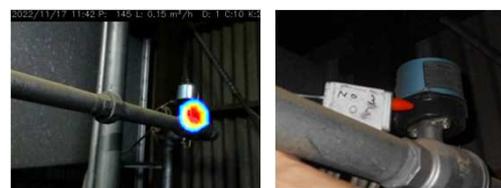
2022年10月に省エネ最適化診断を受診しました。測定器を用いてエア漏れのチェックをしてもらいました。



漏気測定による真空／圧空配管の修繕

本社・諏訪工場および箕輪工場は、中部電力ミライズ様にご協力をいただき、配管のエア漏れ(漏気)測定を実施しました。漏気が確認できた箇所は、配管の修繕、更に圧空配管清掃を行い、コンプレッサー稼働の効率化を行いました。今後も漏気測定器を用いて定期的に測定を実施していきます。

漏気測定器は、エア漏れを視覚的に見えます。漏れが確認できた箇所はナンバリング管理し修繕します。修繕後は効果を検証します。



省エネルギー活動

従業員から集めた省エネアイデアを採用し、夏は遮熱フィルム、冬は断熱フィルムを窓に貼り付け、外部からの熱や冷気の進入を防止しました。また、エネルギー使用合理化支援事業でアドバイスいただいた「排煙窓に断熱材を貼り付けること」で、より一層の断熱対策を実施しました。更に不快にならない程度として、スタッフルームの室温設定温度を+1℃上げました。

自分たちで窓へ遮熱フィルムを貼り付けました。排煙窓へ断熱材を貼ることで夏場の表面温度が7℃程下がりました。



事業活動への取組み

省エネ設備に更新

本社・諏訪工場は、老朽化及び不具合のあった空調3台を最新の省エネタイプに更新しました。岩手工場は、コンプレッサーをインバータ制御タイプに更新し、更に台数制御盤も導入しました。効率よく稼働コントロールすることでムダな電力消費を抑えることが出来ました。室内が高温にならないように、大型換気ファンも導入し、安定稼働できるようになりました。

本社・諏訪工場は省エネタイプの空調設備に更新しました。

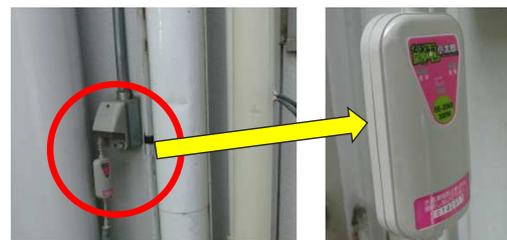


岩手工場は台数制御盤で稼働をコントロールしています。大型ファンも導入し安定稼働できています。



凍結防止ヒーター用節電器の設置

「省エネ最適化診断」でご提案いただいた改善アイテムです。凍結防止ヒーターは冬の間は稼働状態になりますが、節電器の外気温センサーにより自動的に電源切替ができるようになります。工場間で情報を共有し、本社・諏訪工場や箕輪工場の水道管にも凍結防止ヒーターを設置しました。



工場照明をLED化

2022年度は長野県助成金を活用し、本社・諏訪工場の製造エリアの照明をLED化しました。岩手工場は会議室と製造職場の照明をLED化しました。



温湿度監視システムを導入

本社・諏訪工場と箕輪工場の精密組立事業は、温湿度監視システムを導入し、各測定ポイントの温湿度を一元管理しています。職場内の温湿度を常時モニター上で確認することができ、暖めすぎない、冷やしすぎない空調設備の温湿度管理を行いました。

工場内に設置した端末の温湿度情報を一元管理し、常時モニタリングしています。



工場出入口にビニールカーテンを設置

本社・諏訪工場の製造エリアの出入口は、入退室するたびに、外気が室内に入り込み、空調の効率が低下していました。出入口の扉前をビニールカーテンで仕切ることで、工場内へ外気が入り込むことを防止しました。



事業活動への取組み

プラスチック屑3R活動

今まで生産活動から排出される“プラスチック屑”は、処理費用を支払い処分を委託していました。3Rの観点から再生プラスチックとして排出できないか検討を重ね、2021年から一部の“プラスチック屑”をプラスチック再生業者に有償もしくは無償で引き取っていただく取組を開始しました。

この取組を当社の事業所内に水平展開し、新たに排出される“プラスチック屑”の3R活動を継続していきます。

工場内に再生プラスチック屑専用の回収BOXを設置しています。写真は製造から排出される「部品ケース」の回収BOXです。



2022年度から箕輪工場の精密組立事業から排出される「ボビン&ケース」です。材質別に分類しプラスチック屑再生業者に有償で引き取っていただいています。



出荷段ボールの削減

岩手工場は、出荷梱包形態を段ボールからコンテナ積みに変更することをお客様に賛同いただきました。当社は段ボールの購入が、お客様には段ボールの廃棄が無くなり、双方にメリットが出る取組になりました。

段ボール梱包をコンテナ梱包に変更しました。



空調のフィルター掃除

空調の効率を高めるために定期的にフィルター掃除を実施しています。

フィルターが埃などで目詰まりしているため、掃除機で取り除き、洗浄しました。



その他の環境保全活動

- ・ 空調稼働電気使用量を測定し、休日の空調稼働設定を変更
- ・ 食堂の空調稼働時間をタイマー稼働に変更
- ・ 空調の風量を適正設定に見直し
- ・ 受水槽を廃止し、受水槽の定期清掃に使用する水の使用量を削減
- ・ チラーユニット冷却水ポンプを既設により停止
- ・ 洗浄機排気設備を監視する効率的な運用に変更

事業活動への取組み

⑦ コミュニティへの参画 およびコミュニティの発展

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



11 住み続けられる
まちづくりを



⑦ コミュニティ

コミュニティへの参画、教育及び文化、雇用創出及び技術開発、
技術の開発及び技術へのアクセス、富及び所得の創出、健康、社会的投資

取組み項目（重点ポイント）	取組み内容
<input type="checkbox"/> 社会貢献 <input type="checkbox"/> 地域貢献 ・近隣住民／企業への配慮 （騒音・振動・悪臭・水質汚染・土壌汚染） ・AED設置情報の提供、緊急時貸出 ・地域資源（地産地消・地産外商）	<ul style="list-style-type: none"> 各事業団体への寄付／協賛 エコキャップ回収運動の推進 フードドライブ活動参画（労働組合主催） 地域へ騒音、水質測定結果の情報提供 工場周辺美化活動 全国AEDマップへの登録 近隣学校との連携（行事に伴う駐車場貸出） 地域企業の有効活用、地域人材の雇用継続
補足	将来展望・今後の取組み項目
<input type="checkbox"/> 表彰 安全運転管理者協会優良事業所 （2021年表彰） <input type="checkbox"/> 取組 ・八十二銀行様引受の地方創生応援私募債の発行 （2019年1月に諏訪市四賀神戸区へ暖房機器提供） ・交通安全活動推進モデル事業所指定 （2016年指定）	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献（ボランティア活動への参加） 地域コミュニケーション（地元住民の意見収集） 地域のための防災備蓄 地元学校との連携作業 （SDGs・環境保全ポスター作成コンクール提案）

全ての工場にAED設置

全ての工場にAEDを設置しています。近隣住民・企業への緊急貸出も可能にするため、
“日本救急医療財団全国AEDマップ”へ登録しました。その他に工場の入口には標識も設置しています。

日本救急医療財団全国AEDマップより



事業活動への取組み

⑦ コミュニティ

諏訪市四賀小学校3年生 来社

2023年9月28日、本社・諏訪工場最寄りの諏訪市立四賀小学校3年生26人が工場見学に来社しました。授業の一環で、四賀地区マップ製作に取り組むにあたり、生徒からミスズ工業の建屋は見えるが何を作っているのか分からないので行って見たいという要望に基づき今回の工場見学が実現しました。どのような会社なのか、何を作っている会社なのかを説明し、生徒は必死にメモを取っていました。工場内の見学は安全性を考慮し、WEBカメラと会場のプロジェクターを繋ぎ、オンラインで工場の中を案内しました。オンライン見学中にクイズを盛り込み、生徒と一緒に楽しい時間を過ごしました。



ようこそ ミスズ工業へ
四賀小学校3年生のみなさん

2023年9月28日

株式会社 ミスズ工業



2023年(令和5年) 9月30日 土曜日



四賀地区マップ製作の材料集め 仕事への思い聞き取り

四賀小 ミスズ工業を訪問
3年1組

諏訪市四賀小学校3年1組(26人)は今年度「総合的な学習の時間」の一環で、四賀地区のマップ製作に取り組んでいる。28日には、精密部品加工を行う同校から徒歩5分のミスズ工業を訪問。会社の歴史や事業内容、仕事への思いを聞き取り、マップ作りへの材料を集めた。

校舎に長年貼られている学区範囲のマップの老朽化に伴い、同校創立150周年の節目に合わせリニューアル化を目指している。模造紙上の地図に企業や店舗、寺院など6カ所ほどを紹介。事業内容や活動に加えて、働く人や携わる人の思いも取り入れる。

2カ所目となるミスズ工業では、同CSR部社員が社史や事業内容を説明した後、

ウェブカメラを通じて工場内を見学する四賀小3年1組の児童たち

四賀地区マップ製作の材料集め

仕事への思い聞き取り

四賀小 ミスズ工業を訪問

3年1組

諏訪市四賀小学校3年1組(26人)は今年度「総合的な学習の時間」の一環で、四賀地区のマップ製作に取り組んでいる。28日には、精密部品加工を行う同校から徒歩5分のミスズ工業を訪問。会社の歴史や事業内容、仕事への思いを聞き取り、マップ作りへの材料を集めた。

校舎に長年貼られている学区範囲のマップの老朽化に伴い、同校創立150周年の節目に合わせリニューアル化を目指している。模造紙上の地図に企業や店舗、寺院など6カ所ほどを紹介。事業内容や活動に加えて、働く人や携わる人の思いも取り入れる。

2カ所目となるミスズ工業では、同CSR部社員が社史や事業内容を説明した後、

ウェブカメラを通じて工場内を見学する四賀小3年1組の児童たち

地域の企業に理解

四賀小3の1ミスズ工業訪問

四賀小学校3年1組 企業に理解を深めた。

(松島宏俊教諭、26人) 児童たちは映像による工場探訪で、無駄な業を訪問した。総合的な学習の時間で、校内や、加工した部品の傷や汚れを従業員の目と写真の機械判定でチェック、年中稼働する工場の騒音対策などを学んだ。企業名の由来や創業の思いを熱心に質問し「自分の作った部品が使われている腕時計を見た瞬間にうれしく思い、仕事を続けられないとの従業員思いも知った。

同社が小学生の訪問を受けするのは初めてで工場内の安全を考慮しウェブカメラでの見学方式にした。藤森健部長は「熱心で集中して見られていた」と児童たちの学びの姿勢に感心していた。

マップは事業所や社寺など6カ所ほどを紹介するため、グループごとに取材も重ねて年度末に完成予定。松島教諭は「学校外部の人たちと関わり、地域への思いを学んでほしい」と話した。

ウェブカメラでの配信で工場内の仕事や従業員の様子を学ぶ児童たち

事業活動への取組み

ペットボトルキャップ回収活動

2021年からペットボトルキャップ（エコキャップ）回収活動を推進しています。岩手工場で回収したエコキャップは、岩手県奥州市にある「株式会社Peace ing」様に提供しました。株式会社Peace ing様は、廃棄プラスチックを新たな製品の原料にする再生原料を専門とする企業になります。エコキャップはリサイクル材として販売し、その売却益を様々なワクチンや医療品のための寄付金として使用されます。

2022年から本社・諏訪工場と箕輪工場においても回収活動を開始しました。岩手工場同様に回収したエコキャップは、長野県伊那市にあるプラスチック再生業者「株式会社Green（旧：信州ウエイスト）」様に提供しました。2022年度は当社の全工場で合計25,350個（ワクチン12人分）のエコキャップを提供しました。

2022年5月
岩手工場で集まったエコキャップを提供
(株) Peace ing様



ペットボトルのキャップ
(エコキャップ)を集めて世界の子供に
ワクチンを

ご家庭からの持参も歓迎です。
ご協力をお願い致します。

回収したエコキャップは、プラスチック製再生業者
へ提供し、その売却益が「世界の子供にワクチン
を日本委員会(JCV)へ寄付されます。



2022年11月
本社、箕輪で集まったエコキャップを提供
(株) Green様



◆環境活動報告 2022年11月29日 長野CSRG

ペットボトルキャップ回収活動<本社工場編>

2022年度から長野地区ではペットボトルキャップ(エコキャップ)回収活動を再開しました。皆さまのご協力により、今回、本社工場で回収したエコキャップを、長野県伊那市や箕輪町にある「株式会社信州ウエイスト」様に提供しました。株式会社信州ウエイスト様は、プラスチックのリサイクルに積極的な取組を進めている企業になります。エコキャップは粉砕され、協力会社に売却し、その売却益を「世界の子供にワクチンを日本委員会(JCV)」に寄付し、世界の子供たちへのワクチン費用に使用されています。

本社工場：今回排出実績
キャップ：13,200個
ワクチン：5.0人分

↑活動開始以降
120.2万個を寄付
しました

←エコキャップ受領証明書

◆エコキャップからワクチンへ変わるまでのフローは以下の通りになります。

引き続き、環境活動へのご協力をお願いいたします。

©JCV

(株) Peace ing様 ホームページ
エコキャップカウンター



2023年 集まったキャップ 4,339,106個

届けられるワクチン ポリオワクチンで約2,417人分

※届けられるワクチンをポリオワクチンと記載していますが目安として使用しています。実際は様々なワクチンや医療品として寄付金は使用されます。

5/22	(株)ミスズ工業 様	12,150個	27kg	約7人分
------	------------	---------	------	------

事業活動への取り組み

フードドライブ活動

当社の労働組合からの提案を受け、フードドライブ活動に参画しています。各家庭から多くの食料や飲料を集め、労働組合を通じて、団体へ寄付しました。



工場美化活動

当では毎週水曜日の始業前を「5Sの日」として美化活動への協力を従業員にお願いしています。工場内および周辺の草取り、ゴミ拾い等を行い、環境保全に努めています。



会社概要

社名：株式会社ミスズ工業

代表者：代表取締役社長 山崎 泰三

創業：1965年4月1日

資本金：1億円

事業：■精密部品事業（プレス金型の設計・製造、プレス部品・精密部品の製造）
 ■精密組立事業（精密部品の組立、COF<Chip on Film>の製造）
 ■RS事業（装置設計・製造、装置受託組立）

URL：<https://www.miszu.co.jp/>



👉 ミスズ工業
ホームページはこちら

精密部品事業



精密組立事業



RS事業



会社沿革

- 1964年：前身の 山崎精器株式会社 設立
- 1965年：商号を 株式会社ミスズ工業 と改め、創業
Watchムーブメント組立開始
- 1967年：メッキ工場新設
- 1968年：プレス工場新設
- 1972年：工作事業開始
- 1982年：TAB実装量産開始
- 1990年：株式会社東北ミスズ 創業 ⇒2002年に合併し岩手工場とする
- 1997年：T-BGA量産開始
- 1998年：ISO9001認証取得 ⇒2013年に社内システムに切替
精密加工室新設
- 2000年：COF実装量産開始
- 2001年：ISO14001認証取得 ⇒2013年に社内システムに切替
- 2003年：明思作機電(無錫)有限公司 設立
- 2006年：大阪営業所開設
- 2008年：実験小動物用完全埋込み式
マイクロインフュージョンポンプ(商品名:iPRECIO)を開発
- 2015年：創業50周年
iPRECIO 第27回中小企業優秀新技術・新製品賞にて優秀賞受賞
- 2018年：箕輪工場RS事業開始
ISO9001認証再取得
- 2019年：ミスズ工業(香港)株式会社 設立
- 2021年：エコアクション21認証取得
- 2022年：長野県SDGs推進企業制度登録

事業所所在地

本社・諏訪工場



1964年創業
 長野県諏訪市四賀3090
 従業員：117人
 ・金型設計～製造
 ・精密プレス部品製造
 ・表面処理
 ・精密部品組立

岩手工場



1990年創業
 岩手県北上市北工業団地1-15
 従業員：85人
 ・精密プレス部品製造
 ・表面処理
 ・COF実装

大阪営業所



2006年開設
 大阪府吹田市江の木町 17-20
 パルムハウス江坂 205号
 従業員：1人

箕輪工場



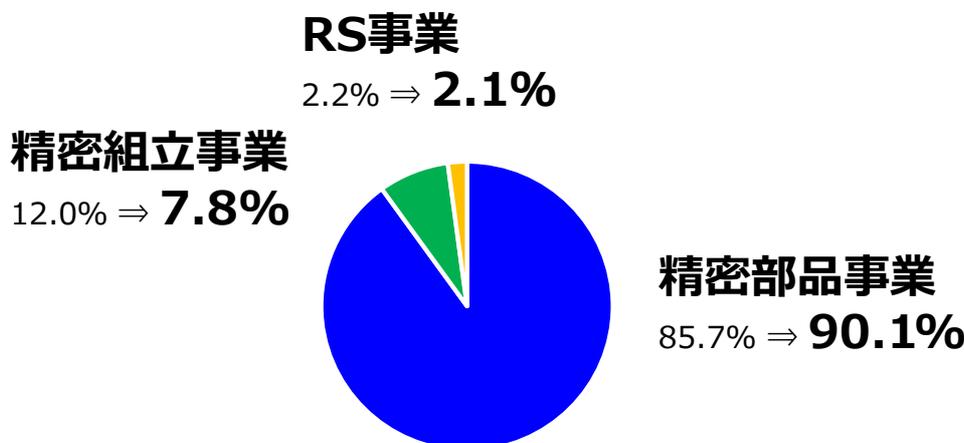
1984年創業
 長野県上伊那郡箕輪町中箕輪1536
 従業員：39人
 ・装置設計～製造
 ・装置受託組立
 ・精密部品組立

※グループ会社
 中国：明思作機電（無錫）有限公司
 香港：ミスズ工業（香港）株式会社

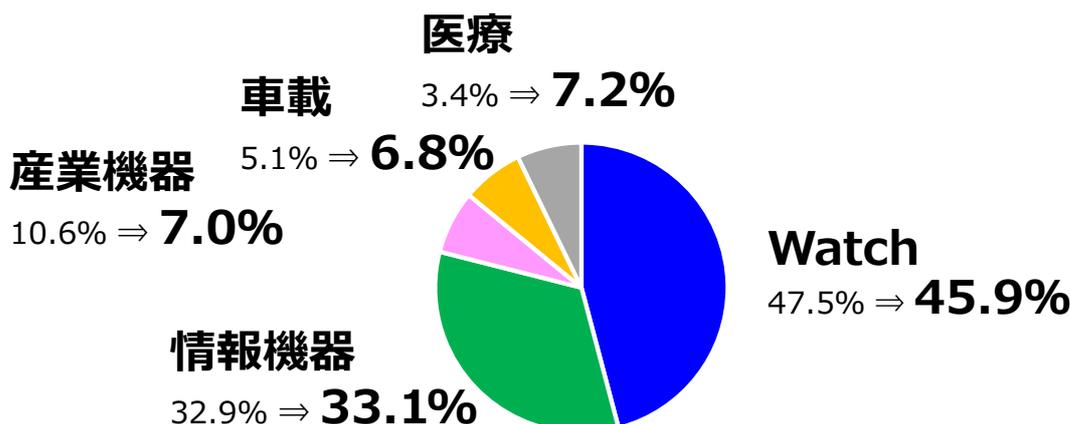
※従業員数は2023年9月21日時点

売上推移

事業部門別 2021年度 ⇒ 2022年度



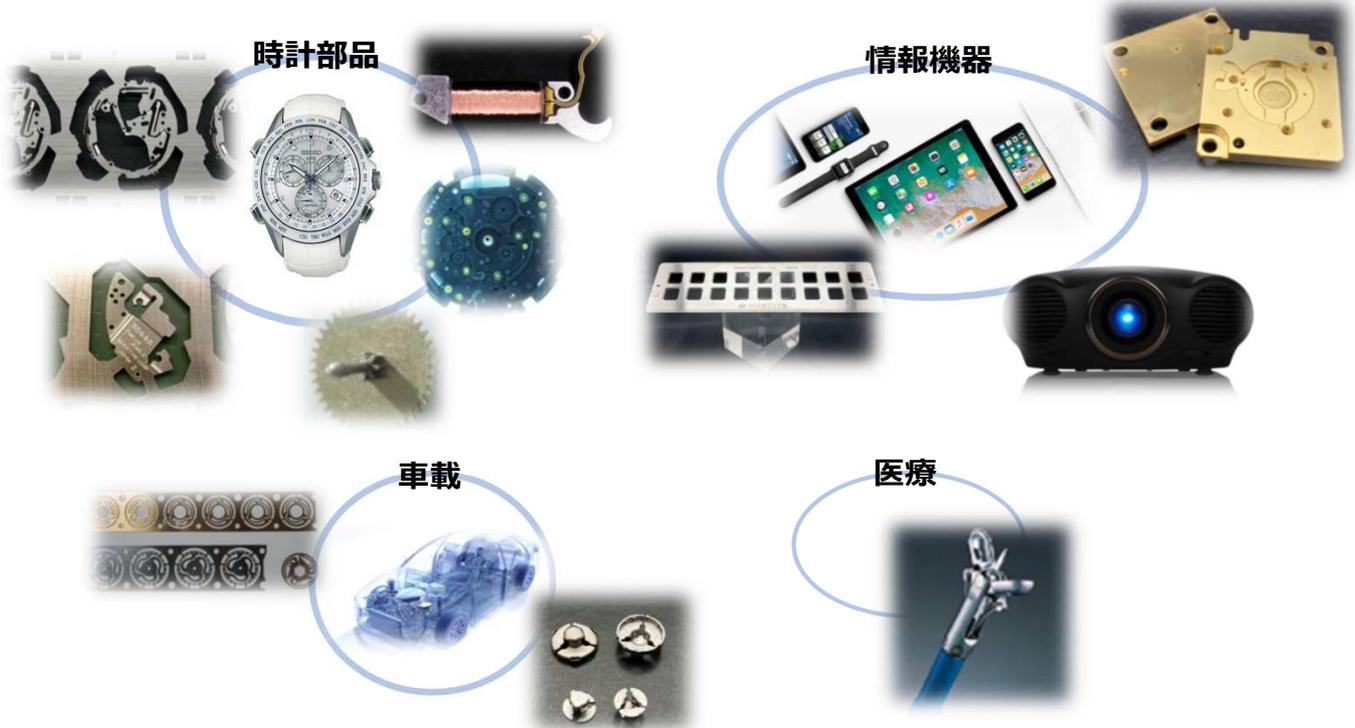
産業別 2021年度 ⇒ 2022年度



事業紹介

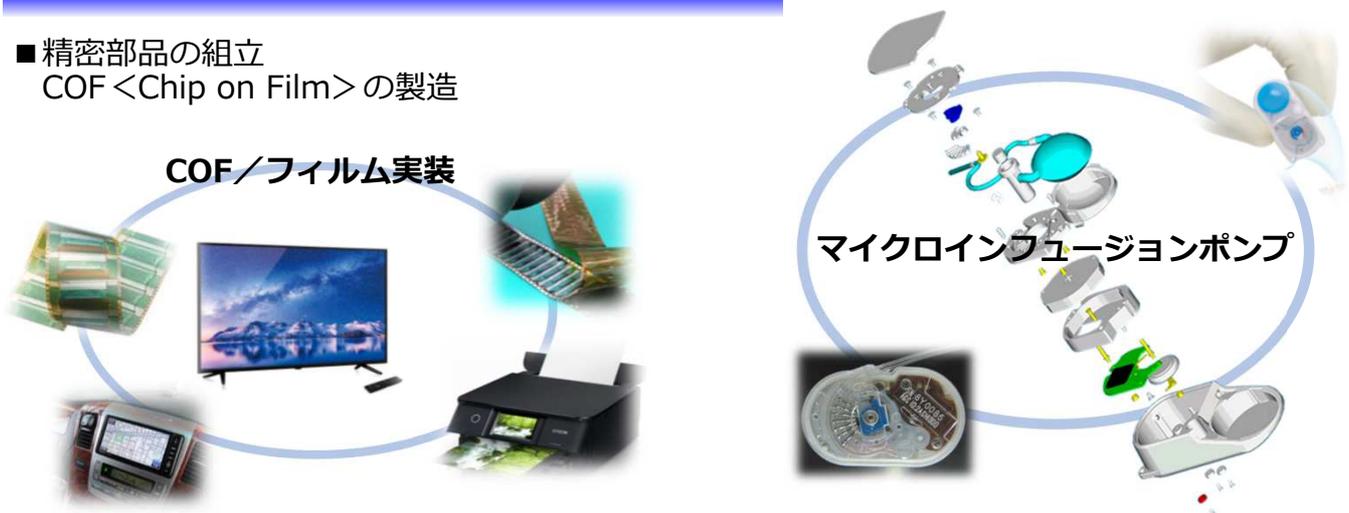
精密部品事業

- プレス金型の設計・製造
プレス部品・精密部品の製造



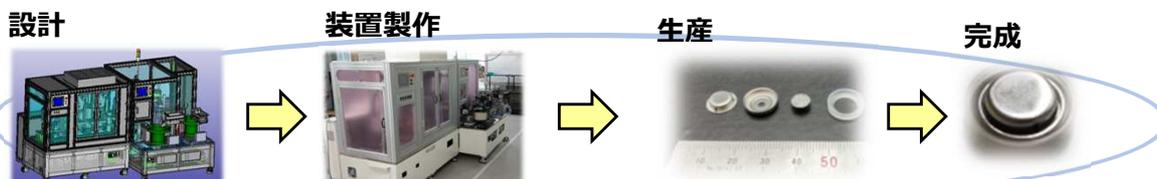
精密組立事業

- 精密部品の組立
COF <Chip on Film> の製造



RS事業

- 装置の設計・製造
装置の受託組立





わたしたちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

END